

この「広報ひこね」は47,800部作成し、1部当たりの単価は7円(1円未満切り捨て)です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

連載企画 | 発見 彦根の文化財 | 佐和山城跡は今が見ごろ

境目の城・佐和山城

佐和山城の歴史は古く、鎌倉時代初期に近江源氏・佐々木定綱の六角時綱が、佐和山の麓に館を構えたのが始まりと伝えます。その後、佐々木氏は湖北の京極氏と湖南の六角氏に分かれて対立。佐和山城は両勢力の境目の城として攻防が繰り返されました。戦国時代に入ると、湖北では京極氏に代わって浅井氏が覇権を確立し、湖南の六角氏との間で佐和山城争奪戦が展開されることとなります。

信長・秀吉の時代にも、佐和山城は近江の要衝を守る城として重視されました。信長は佐和山城に重臣の丹羽長秀を配し、信長自身も佐和山城を近江制圧の拠点として利用しました。秀吉の代も、堀秀政、堀尾吉晴そして五奉行筆頭の石田三成の入城と、佐和山城に重きを置く姿勢は変わりませんでした。この間、佐和山城はしだいに整備され、三成の時代には山上に本丸以下、二の丸・三の丸・太鼓丸・法華丸などが連なり、山下は東山道に面して大手門が開き、二重に巡らされた堀の内には侍屋敷・足軽屋敷・町屋などの城下町がすでに形成されていました。

佐和山城から彦根城へ

慶長五年(1600)、天下分け目の関ヶ原合戦の2日後、小早川秀秋ら関ヶ原の寝返り組を主力とする1万5,000人の兵が佐和山城を包囲しました。三成は関ヶ原で敗れて湖北に逃走中であり、このとき佐和山城には三成の父正継を主将に兄の正澄ら約2,800人が布陣していたといえます。佐和山の守備は固く、執拗な攻撃によく耐えたようですが、兵力の違いはいかんともし難く、ついに佐和山城は落城しました。

関ヶ原合戦後の論功行賞により、三成の居城であった佐和山城が与えられたのは、彦根の初代藩主となる井伊直政です。慶長六年正月、直政は上野国高崎城(群馬県高崎市)より佐和山に入りました。ところが直政は、関ヶ原合戦で受けた鉄砲傷が悪化して翌年死去します。直政より後事を託された家老木俣守勝は、城の移築計画を徳川家康に計ります。佐和山・彦根山・磯山(米原市)の三山を候補に彦根山への移築を決定しました。

文化財調査に取り組んでいます

「両教育委員会文化財課では、平成16年度から長期計画を立て、彦根城の礎となった佐和山城跡の本格的な

測量調査に取り組んでいます。また、古絵図や古文書、伝世資料や採集品などを対象とする佐和山城の総合的な文化財調査を実施しています。こうした調査によって、佐和山城の遺構やゆかりの資料が少しずつ明らかになってきました。

とくに昨年度は、県の補助を得て本格的な間伐を行い、これまでうっそうとしていた佐和山の稜線が明確になりました。幾つもの曲輪(平坦地)と切岸(急斜面)を経ながら本丸跡に向かう登城道が、はつきり分かります。佐和山城跡は今が見ごろ。要所には、新しく説明板や道標を設け、解説シートも作成しました。この機会に、一新された佐和山城跡を訪ねてみてはいかがでしょうか。

◆佐和山城跡解説シートは、両教育委員会文化財課や開国記念館・観



▲間伐後の佐和山城跡

光案内所・観光協会などに置いてあります。

◆佐和山は清涼寺や龍潭寺などの持山です。団体で登山される場合には、両寺にお声をかけてください。

問い合わせ先 両教育委員会文化財課 ☎26-5833番、FAX 26-5899番、Eメール: bunkazai@mx.hikone.ed.jp

彦根市長に 獅山向洋さんが 市長選挙の結果



4月26日(日)に執行された彦根市長選挙において、即日開票の結果、獅山向洋さんが当選し、5月10日に市長に就任されました。任期は平成25年5月9日までの4年間です。なお、彦根市長選挙の投票率は44.89%(前回は47.19%)でした。

今月の納税 固定資産税(第1期)、軽自動車税(全期) 6月1日(月)までに納めましょう